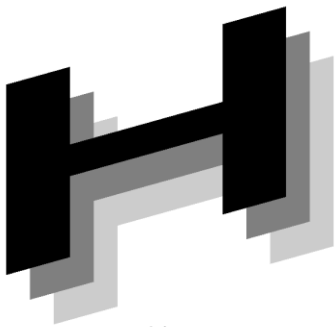




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

J A H I S

心臓カテーテル検査  
レポート構造化記述規約  
Ver. 1.0

2016年5月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
医療システム部会 検査システム委員会

# JAHIS 心臓カテーテル検査レポート構造化記述規約 Ver. 1.0

## まえがき

医療現場において、診療記録、検査報告書、診療情報提供書、各種サマリ等多くの診療文書が使用されている。従来紙上で記述されるか、ワープロソフトや各ベンダーの独自形式での電子化あるいは PDF といった形式で作成されていることが多かった。ICT 技術の発展と共にさらに電子的な情報共有によりそれら診療文書の情報を治療に活用したり、さらには IT 技術を利用することで人的ミスによる医療事故を未然に防止したりすることへの期待が高まっている。この人的ミスの原因には、診療情報や検査結果が対象部門に十分に伝わらなかったため、それらが適切な治療に結びつかなかったことが含まれる。これらについて、標準化された医療情報交換により診療部門間及び医療機関間の正確な情報連携を実現し、システム間の情報連携がスムーズで確実に進めることが期待されてきた。

これらに対応するため HL7 CDA (Clinical Document Architecture) による実装も試みられているが、CDA による記述の裁量範囲が広いと、同じような目的の診療文書が異なった仕様で実装されてしまう可能性が考えられる。そのため、共通であるべき情報は可能な限り共通仕様としてまとめ、共通の考え方で実装することを目的に規約共通編（「JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.1.0」）が規定された。

これらをふまえ、心臓カテーテル検査についても規約共通編の内容を精査した上で、国内(Realm=JP)における心臓カテーテル検査固有の仕様をとりまとめ、規約共通編と組み合わせて利用することを前提に本規約を作成した。

医療の ICT 化に期待された様々な有効性を実現するためにお役に立て戴くことを期待している。

2016年5月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
医療システム部会 検査システム委員会

### << 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

# 目 次

1. 心カテレポート概要.....	4
1.1 本規約と規約共通編の位置付けについて.....	4
2. 主な用語.....	4
3. CDA ヘッダ部.....	5
3.1. CDA ヘッダ属性部.....	5
3.1.1. 固有の制約.....	5
3.2. ドキュメントヘッダ部.....	6
3.2.1. 固有の制約.....	6
4. CDA ボディ部.....	9
4.1. セクション概要.....	9
4.2. セクション定義.....	11
4.2.1. 患者付帯情報 Patient Information.....	11
4.2.2. 併存疾患情報 Comorbidity information.....	12
4.2.3. 冠危険因子 Coronary risk factors.....	14
4.2.4. 循環器疾患既往歴 History of Past cardiovascular Illness.....	15
4.2.5. 過去の血行再建 Past of revascularization.....	17
4.2.6. 術前情報 Preoperative information.....	18
4.2.7. 検査情報 Basic information of the cardiac catheterization study.....	20
4.2.8. 検査内容 Content of the procedure in the Cardiac catheterization study.....	22
4.2.9. 補助循環治療 Assisted Circulation.....	23
4.2.10. カテーテル Catheter used in the Cardiac Angiography.....	25
4.2.11. 冠動脈病変 Coronary Segment.....	26
4.2.12. 冠動脈病変[拡張項目] Coronary Segment(Extended Items).....	28
4.2.13. LVG Left ventricle Angiography.....	29
4.2.14. 心内圧データ Blood pressure method.....	31
4.2.15. スパズム負荷試験 Spasm stress test.....	33
4.2.16. PCI 合併症 PCI complications.....	34
4.2.17. PCI 処置 PCI procedure.....	36
4.2.18. PCI 処置[拡張項目] PCI procedure (Extended Items).....	37
4.2.19. PCI 処置結果[拡張項目] Result of the PCI (Extended Items).....	39
4.2.20. PCI 処置結果ステント基本情報[拡張項目] Basic information of the Stent (Extended Items).....	41
付録一 1. 作成者名簿.....	43

## 1. 心カテレポート概要

心臓カテーテル検査には、冠動脈造影検査（以下“CAG”）、冠動脈形成術（以下“PCI”）、電気生理学的検査（以下“EPS”）、血行動態検査などの検査のカテゴリがある。本規約はこれらの検査に関するレポート情報を記述するための規定を定めるものである。尚、本バージョンでは、検査情報を含む CAG と PCI 検査には対応するが、EPS 及び血行動態検査などには対応しない。

ここでいう心臓カテーテル検査レポート（以下心カテレポート）とは、医師による判読が行われたレポートのみではなく、システム、検査機器により生成された検査データも広義のレポートとし、規約の対象とする。

### 1.1 本規約と規約共通編の位置付けについて

本規約では、規約共通編（JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.1.0）に記載されていない診療文書固有の仕様を定義した内容を記載しており、各診療文書で共通的に利用可能と思われる仕様は規約共通編を参照している。したがって、本規約と規約共通編を組み合わせて使用されたい。

## 2. 主な用語

規約共通編「3. 主な用語」を参照のこと。

また、本規約では HL7CDA R2 のデータ型、ボキャブラリ、RIM(Reference Information Model)、R-MIM(Refined Message Information Models)等詳細仕様記載を簡略化している。詳細仕様については以下 HL7 協会の URL で入手し、参照されたい。スキーマも入手可能となっている。ユーザ登録（無料）をすればダウンロード可能である。

[http://www.hl7.org/implement/standards/product\\_brief.cfm?product\\_id=7](http://www.hl7.org/implement/standards/product_brief.cfm?product_id=7)

### 3. CDA ヘッダ部

CDA ヘッダ部で記述すべき内容は、規約共通編に記載されている項目を共通使用する。

心カテレポートでは規約共通編に定義された項目を選択し、場合により制約を加え内容を記述する。本規約では、CDA ヘッダ部を文書の識別、種類などを特定する CDA ヘッダ属性部と、文書の記入者、受診者などの情報を記載するドキュメントヘッダ部として記載する。

#### 3.1. CDA ヘッダ属性部

作成される文書の識別、種類などを特定するための情報を記述する。

##### 3.1.1. 固有の制約

心カテレポートにおける CDA ヘッダ属性部を記述する際の固有の制約について記載する。

###### (1) テンプレート ID

心カテレポートを記述する際のテンプレート ID<ClinicalDocument.templateId>を以下に示す。

表 3-1 心カテレポートテンプレート ID

項目名	テンプレート ID
心臓カテーテル検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.64

###### (2) ドキュメントコード

心カテレポートを記述する際のドキュメントコード<ClinicalDocument.code>には、心カテレポート種別に相当するコードを用いる。以下にドキュメントコード例を示す。

表 3-2 心カテレポートドキュメントコード例

コード	displayName(英表記)	項目名
18745-0	Cardiac catheterization study	心臓カテーテル検査レポート

※本例のコード体系には LOINC を使用

## 3.2. ドキュメントヘッダ部

文書の記入者、受診者、提供・対象などの情報を記述する。

### 3.2.1. 固有の制約

心カテレポートにおけるドキュメントヘッダ部を記述する際の固有の制約について記載する。

#### (1) 患者基本情報

心カテレポートを記述する際の患者基本情報に含まれる医療機関情報  
 <ClinicalDocument.recordTarget.patientRole.providerOrganization>には、受診者の所属科を記述する。  
 所属科には任意の名称を記述することができる。

#### (2) ドキュメントヘッダ部項目一覧

ドキュメントヘッダ情報については、他の文書類と内容、書式などを共通の定義として記載する。そのため本規約では共通の定義に従い心カテレポートの特性にあった制約を行っている。  
 規約共通編にて記載のある項目について、心カテレポートでの利用定義を示す。

表 3-3 ドキュメントヘッダ部項目一覧 利用定義

項目	Opt.※1	説明
患者情報	R	recordTarget
ID	R	patientRole/id
住所	O	patientRole/addr
電話番号	O	patientRole/telecom
姓名（英語）	O	patientRole/patient/name @use="ABC"
姓名（漢字）	R	patientRole/patient/name @use="IDE"
姓名（カナ）	R	patientRole/patient/name @use="SYL"
性別	R	patientRole/patient/administrativeGenderCode
生年月日	R	patientRole/patient/birthTime nullFlavor可
婚姻情報	N	patientRole/patient/maritalStatus
宗教	N	patientRole/patient/religiousAffiliationCode
後見人	N	patientRole/patient/guardian
生誕地	N	patientRole/patient/birthplace/place
対話言語の堪能レベル	N	patientRole/patient /languageCommunication
保険機関	O	patientRole/providerOrganization/name ※心カテレポートでは所属科を格納
作成者および作成システム	R	Author
作成日時	R	time 所見記入日時など
作成者IDもしくはシステムのUID	R	assignedAuthor/id
作成者住所	O	assignedAuthor/addr
作成者電話番号	O	assignedAuthor/telecom

	作成者名	R	assignedAuthor/assignedPerson/name ※2 所見記入者など。
	作成システム	R	assignedAuthor/assignedAuthoringDevice ※2 本CDAを作成した機器あるいはシステム。モダリティで測定し、レポートシステムがCDAを生成する場合、レポートシステムの情報を記述する。測定モダリティの情報は計測値セクションのAuthorに記述する。
	作成組織	R	assignedAuthor/representedOrganization authoringDeviceを製造あるいは提供しているメーカ
転記者		N	dataEnterer
	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	入力者	N	assignedEntity/assignedPerson
情報提供者 1		N	Informant
	ID	N	assignedEntity/id
	住所	N	assignedEntity/addr
	電話番号	N	assignedEntity/telecom
	提供者	N	assignedEntity/assignedPerson
情報提供者2		N	Informant
	コード	N	relatedEntity/code
	関係者	N	relatedEntity/relatedPerson
保管組織		R	Custodian
	組織ID	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/id
	組織名	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/name
	電話番号	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/telecom
	住所	R	assignedCustodian/representedCustodianOrganization/addr
受取人（依頼科）		O	informationRecipient
	ID	O	intendedRecipient/id
	住所	O	intendedRecipient/addr
	電話番号	O	intendedRecipient/telecom
	受取人	O	intendedRecipient/informationRecipient
	受取組織	O	intendedRecipient/receivedOrganization
法的本書承認者		N	legalAuthenticator
	日時	N	time
	署名コード	N	signatureCode
	承認者	N	assignedEntity
本書記載内容責任者		O	Authenticator ドキュメント承認者。判読医などのレポート承認者。
	日時	R	time
	署名済みコード	R	signatureCode
	ID	R	assignedEntity/id
	住所	O	assignedEntity/addr
	電話番号	O	assignedEntity/telecom
	記載者	R	assignedEntity/assignedPerson
関係者		O	Participant
	関係者	N	associatedEntity
オーダー情報		O	inFulfillmentOf
	オーダー番号	R	order/id 電子カルテ等発行のオーダー番号

検査・診療等行為	R	documentationOf
サービスイベントコード	O	serviceEvent/code
実施日	R	serviceEvent/effectiveTime 検査開始日時を<low>、検査終了日時を<high>に記述する。区別しない場合は、同値を両者に記述する。
行為の補足	O	serviceEvent/performer/functionCode
ID	R	serviceEvent/performer/assignedEntity/id
住所	O	serviceEvent/performer/assignedEntity/addr
電話番号	O	serviceEvent/performer/assignedEntity/telecom
実施者	R	serviceEvent/performer/assignedEntity/assignedPerson ※心カテレポートでは検査技師名を格納
文書関係	N	relatedDocument
ID	N	parentDocument/id
承諾	N	Authorization
ID	N	consent/id
コード	N	consent/code
ステータスコード	N	consent/statusCode
受診時情報	N	componentOf
ID	N	encompassingEncounter/id
コード	N	encompassingEncounter/code
期間。例えば入院期間	N	encompassingEncounter/effectiveTime
退院時の患者の傾向	N	encompassingEncounter/dischargeDispositionCode
診察に対して第一の法的責任を負う者	N	encompassingEncounter/responsibleParty
診察と直接関係のある医師	N	encompassingEncounter/encounterParticipant
診療施設	N	encompassingEncounter/location/healthCareFacility

※1 本規約での取り扱いは以下の通りである。

R=必須。O=任意。N=本規約では使用しない。(合意の下、関係システム内限定で使用可)

※2 author の中にどちらか1つのみ記述可能。共に記述する場合はauthorを2つ記述する。



## 4. CDA ボディ部

CDA ボディ部には検査に関する情報が記述される。各情報はセクション単位で構成され、さらに、セクションは、任意のエントリから構成される。ボディ部定義については、規約共通編を参照されたい。

### 4.1. セクション概要

ボディ部には、検査項目、検査結果データへの外部リンク情報、検査所見、診断情報、既往歴や自覚症状など検査にまつわる情報、計測値が含まれ、それぞれセクションとして表現される。

本規約で使用する各セクションの情報を以下に示す。表 4-1 はどの検査カテゴリでも使用するセグメントを、表 4-2 は検査カテゴリの CAG を実施した場合に使用するセグメントを、表 4-3 は検査カテゴリの PCI を実施した場合に使用するセグメントを示す。また、各セクションのエントリ記述ブロックで使用するコードは、LOINC や JLAB10 等、諸団体にてコードが定義されている項目を使用する事が可能である。

表 4-1 セクション一覧表 (セクション内容:検査情報)

セクション名	Opt.※1	セクションコード	テンプレートID
患者付帯情報 Patient Information	○	52460-3	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3
併存疾患情報 Comorbidity information	○	78923-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.54
冠危険因子 Coronary risk factors	○	78940-4	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.55
循環器疾患既往歴 History of past cardiovascular illness	○	78941-2	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.56
過去の血行再建 Past of revascularization	○	80286-8	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.57
術前情報 Preoperative information	○	80528-3	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.58
検査情報 Basic information of the cardiac catheterization study	○	80190-2	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.60
検査内容 Content of the procedure in the Cardiac catheterization study	○	78949-5	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.61
補助循環治療 Assisted Circulation	○	78933-9	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.62

表 4-2 セクション一覧表 (セクション内容:CAG)

セクション名	Opt.※1	セクションコード	テンプレートID
カテーテル Catheter used in the Cardiac Angiography	○	78942-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.65
冠動脈病変 Coronary Segment	○	78895-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.66
冠動脈病変 [拡張項目] ※2 Coronary Segment(Extended Items)	○	80192-8	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.67
LVG Left ventricle Angiography	○	78950-3	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.68
心内圧データ Blood pressure method	○	8357-6	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.69
スバズム負荷試験 Spasm stress test	○	80191-0	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.70

表 4-3 セクション一覧表 (セクション内容:PCI)

セクション名	Opt.※1	セクションコード	テンプレートID
PCI合併症 PCI complications	○	78943-8	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73
PCI処置 PCI procedure	○	78914-9	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.74
PCI処置 [拡張項目] ※2 PCI procedure (Extended Items)	○	80527-5	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.75
PCI処置詳細 [拡張項目] ※2 Result of the PCI (Extended Items)	○	80731-3	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.76
PCI処置詳細ステント基本情報 [拡張項目] ※2 Basic information of the Stent (Extended Items)	○	78939-6	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.77

※1 本規約での取り扱いは以下の通りである。

○=任意。

※2 冠動脈病変 [拡張項目]、PCI処置[拡張項目]、PCI処置詳細[拡張項目]及びPCI処置詳細ステント基本情報[拡張項目]は研究用等の二次利用の場合に使用する条件付オプションである。

## 4.2. セクション定義

本項では、各セクションについての定義を記載する。

### 4.2.1. 患者付帯情報 Patient Information

#### (1) 概要

本セクションについては、規約共通編にて定義されているが、本規約において使用する場合の制約事項を本項に記載するものとする。本セクションはもともと CDA ヘッダ部にて記述する患者基本情報部 (recordTarget) で表現しきれない情報を補うためのセクションである。患者付帯情報として記述可能な項目はいくつか存在するが、本規約では年齢のみ使用可能とする。

CDA においては、通常検査日と生年月日より年齢を求めるため、年齢の記述はオプションである。しかし、救急時など、推定で年齢のみ入力する場合があります、その年齢によって自動解析結果が異なるケースがある。そのようなケースでは、生年月日が記述されず、年齢が記述される。

尚、年齢分類については LOINC コード=30525-0 を使用し、年齢単位については、“年”,”月”,”週”,”日”の 4 項目を使用可能とする。また、CDA については検査日、診療記録記載日時などと生年月日で年齢を算出するが、本情報記載の場合は算出年齢よりも優先される。

#### (2) 説明ブロック仕様

表 4-4 患者付帯情報 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3"]			
templateId	1..1		
@root	R	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3	テンプレートID値
Code	1..1		
@code	R	52460-3	セクションコード値
@displayName	R	患者付帯情報	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列

#### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-5 患者付帯情報 エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3"]/entry			
Observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
Code	1..1		
@code	R	30525-0	年齢分類コード。 規約共通編を参照。
@displayName	R	年齢	年齢分類コードを示す文字列

@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	年齢分類コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	年齢分類コードのコード体系を示す文字列
Value	0..1		
@xsi:type	R	PQ	年齢データ型
@value	R		年齢
@unit	R		年齢に対する単位

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.3"/>
  <code code="52460-3" displayName="患者付帯情報" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="30525-0" displayName="年齢" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC"/>
      <value value="30" unit="a" xsi:type="PQ"/>
    </observation>
  </entry>
</section>

```

## 4.2.2. 併存疾患情報 Comorbidity information

### (1) 概要

心血管イベントに影響のある併存疾患についての記述を行う。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-6 併存疾患情報 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.54"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.54	テンプレートID
Code	1..1		
@code	R	78923-0	セクションコード
@displayName	R	併存疾患情報	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
Title	0..1		
text()	M	併存疾患情報	セクションタイトル
Text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-7 併存疾患情報 エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.54"]/entry			
Observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
Code	1..1		
@code	R		併存疾患コード。 併存疾患コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		併存疾患コードを示す文字列。 併存疾患コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	併存疾患コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	併存疾患コードのコード体系を示す文字列
Value	1..1		併存疾患コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@code	R		有/無/不明選択コード
@displayName	R		有/無/不明

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.54" />
  <code code="78923-0" displayName=" 併存疾患情報 " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>併存疾患情報</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>腎不全</td>
          <td>有</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="45678-0" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
displayName="腎不全" />
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
    </observation>
  </entry>

```

© JAHIS 2016

```

</observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

### 4.2.3. 冠危険因子 Coronary risk factors

#### (1) 概要

冠動脈に関する危険因子を記載する。

#### (2) 説明ブロック仕様

表 4-8 冠危険因子 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.55"]			
Templateid	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.55	テンプレートID
Code	1..1		
@code	R	78940-4	セクションコード
@displayName	R	冠危険因子	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
Title	0..1		
text()	M	冠危険因子	セクションタイトルを示す文字列
Text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

#### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-9 冠危険因子エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.55"]/entry			
Observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
Code	1..1		
@code	R		冠危険因子コード。 冠危険因子コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		冠危険因子コードを示す文字列。 冠危険因子コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	冠危険因子コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	冠危険因子コードのコード体系を示す文字列
Value	1..1		冠危険因子コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型

@value	R		結果値（STの場合のみ必須）
@code	R		有/無/不明選択コード（CDの場合のみ必須）
@displayName	R		有/無/不明（CDの場合のみ必須）

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.55" />
  <code code="78940-4" displayName="冠危険因子" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>冠危険因子</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>高血圧</td>
          <td>無</td>
        </tr>
        <!-- 以下繰り返し -->
      </tbody>
    </table>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="45643-4" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
displayName="高血圧" />
      <value xsi:type="CD" code="LA32-8" displayName="無" />
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.4. 循環器疾患既往歴 History of Past cardiovascular Illness

(1) 概要

過去の病歴、プロブレム、診断の経歴を記載する。現疾患あるいは治療を探るための直接可能性のあることの詳細を記載する。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-10 循環器疾患既往歴 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.56"]			
Templateid	1..1		

@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.56	テンプレートID
Code	1..1		
@code	R	78941-2	セクションコード
@displayName	R	循環器疾患既往歴	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
Title	0..1		
text()	M	循環器疾患既往歴	セクションタイトルを示す文字列
Text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-11 循環器疾患既往歴エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.56"]/entry			
Observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
Code	1..1		
@code	R		既往歴コード。 既往歴コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		既往歴コードを示す文字列。 既往歴コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	既往歴コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	既往歴コードのコード体系を示す文字列
Value	1..1		既往歴コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.56" />
  <code code="78941-2" displayName="循環器疾患既往歴" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>循環器疾患既往歴</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>脳梗塞</td>
          <td>有</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
</section>

```



```

</tbody>
</table>
</text>
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="78925-5" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
displayName="脳梗塞" />
    <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
  </observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.5. 過去の血行再建 Past of revascularization

##### (1) 概要

患者の医療リスクに影響を与える可能性に関する患者の遺伝関係のある親族の情報を記載する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-12 過去の血行再建 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.57"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.57	テンプレートID
Code	1..1		
@code	R	80286-8	セクションコード
@displayName	R	過去の血行再建	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
Title	0..1		
text()	M	過去の血行再建	セクションタイトルを示す文字列
Text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-13 過去の血行再建エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.57"]/entry			
Observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
Code	1..1		

@code	R		過去の血行再建コード。 過去の血行再建コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		過去の血行再建コードを示す文字列。 過去の血行再建コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		過去の血行再建コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		過去の血行再建コードのコード体系を示す文字列
Value	1..1		過去の血行再建コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.57" />
  <code code="80286-8" displayName="過去の血行再建" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>過去の血行再建</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>PCI歴</td>
          <td>有</td>
        </tr>
        <!-- 以下繰り返し -->
      </tbody>
    </table>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code=" XXXXX " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName=" LOINC"
displayName=" PCI歴" />
      < value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

### 4.2.6. 術前情報 Preoperative information

#### (1) 概要

24 時間以内の患者の心疾患情報を記載する。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-14 術前情報 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.58"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.58	テンプレートID
Code	1..1		
@code	R	80528-3	セクションコード
@displayName	R	術前情報	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
Title	0..1		
text()	M	術前情報	セクションタイトルを示す文字列
Text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-15 術前情報記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.58"]/entry			
Observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
Code	1..1		
@code	R		術前情報コード。 術前情報コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		術前情報コードを示す文字列。 術前情報コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		術前情報コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		術前情報コードのコード体系を示す文字列
Value	1..1		術前情報コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.58" />
  <code code="80528-3" displayName="術前情報" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>術前情報</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>

```

© JAHIS 2016

```

<tr>
  <td>24時間以内の心肺停止</td>
  <td>有</td>
</tr>
<!-- 以下繰り返し -->
</tbody>
</table>
</text>
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="XXXXX" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName=" LOINC"
displayName="24時間以内の心肺停止" />
    <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
  </observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.7. 検査情報 Basic information of the cardiac catheterization study

##### (1) 概要

検査に関する情報を記載する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-16 検査情報 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.60"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.60	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	80190-2	セクションコード
@displayName	R	検査情報	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	検査情報	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-17 検査情報エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.60"]/entry			

observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		検査情報コード。 検査情報コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		検査情報コードを示す文字列。 検査情報コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		検査情報コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		検査情報コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		検査情報コードに対する結果値
@xsi:type	R	TS/PN/PQ	日時データ型/人名型/数値型
@value	M		結果値
@unit	R		単位（PQの場合のみ必須）

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.60" />
  <code code="80190-2" displayName="検査情報" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>検査情報</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>待機_緊急</td>
          <td>緊急</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="78927-1" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
displayName="待機_緊急" />
      <value xsi:type="CD" code="2" displayName="緊急" />
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

## 4.2.8. 検査内容 Content of the procedure in the Cardiac catheterization study

### (1) 概要

検査内容に関する情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-18 検査内容 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.61"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.61	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78949-5	セクションコード
@displayName	R	検査内容	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	検査内容	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-19 検査内容エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.61"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		検査内容コード。 検査内容コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		検査内容コードを示す文字列。 検査内容コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		検査内容コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		検査内容コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		検査内容コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

### (4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.61" />
```

© JAHIS 2016

```

<code code="78949-5" displayName="検査内容" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
<title>検査内容</title>
<text>
  <table>
    <tbody>
      <tr>
        <td>右心カテ</td>
        <td>有</td>
      </tr>
      <!-- 以下繰り返し -->
    </tbody>
  </table>
</text>
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="78930-5" codeSystem="1.3.6.1.4.1.19376.1.4.1.6" codeSystemName=" LOINC"
displayName=" 右心カテ " />
    < value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
  </observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.9. 補助循環治療 Assisted Circulation

(1) 概要

補助循環を用いた治療の有無に関する情報を記載する。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-20 補助循環治療 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.62"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.62	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78933-9	セクションコード
@displayName	R	補助循環治療	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	補助循環治療	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-21 補助循環治療エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.62"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		補助循環治療コード。 補助循環治療コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		補助循環治療コードを示す文字列。 補助循環治療コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		補助循環治療コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		補助循環治療コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		補助循環治療コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.62" />
  <code code="78933-9" displayName="補助循環治療" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>補助循環治療</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>一時ペーシング</td>
          <td>有</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="78934-7" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName=" LOINC"
displayName="一時ペーシング" />
      < value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
    </observation>
  </entry>

```



<!-- 以下繰り返し -->  
 </section>

#### 4.2.10. カテーテル Catheter used in the Cardiac Angiography

##### (1) 概要

使用されたカテーテルに関する情報を記載する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-22 カテーテル 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.65"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.65	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78942-0	セクションコード
@displayName	R	カテーテル	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	カテーテル	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-23 カテーテルエントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.65"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		カテーテルコード。 カテーテルコード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		カテーテルコードを示す文字列。 カテーテルコード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		カテーテルコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		カテーテルコードのコード体系を示す文字列
value	1..1		カテーテルコードの対する結果値
@xsi:type	R	ST	文字データ型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.6.1"/>
  <code code="78942-0" displayName="カテーテル" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>カテーテル</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>RCA_catheter</td>
          <td>JR40</td>
        </tr>
        <!-- 以下繰り返し -->
      </tbody>
    </table>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="80224-9" displayName="RCA_catheter" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
      <value xsi:type="ST"> JR40</value>
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.11. 冠動脈病変 Coronary Segment

(1) 概要

冠動脈の病変に関する情報を記載する。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-24 冠動脈病変 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.66"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.66	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78895-0	セクションコード
@displayName	R	冠動脈病変	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID

@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	冠動脈病変	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-25 冠動脈病変エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.66"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		冠動脈病変コード。 冠動脈病変コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		冠動脈病変コードを示す文字列。 冠動脈病変コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		冠動脈病変コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		冠動脈病変コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		冠動脈病変コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.66"/>
  <code code="78895-0" displayName="冠動脈病変" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC"/>
  <title>冠動脈病変</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>病変枝数</td>
          <td>1枝</td>
        </tr>
        <!-- 以下繰り返し -->
      </tbody>
    </table>
  </text>
</entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">

```

```

    <code code="78896-8" displayName="病変枝数" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
    <value xsi:type="CD" code="1" displayName="1枝" />
  </observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.12. 冠動脈病変[拡張項目] Coronary Segment(Extended Items)

##### (1) 概要

心臓カテーテル情報システムの拡張項目の冠動脈の病変に関する情報を記載する。  
本セクションは主に二次利用目的で使用し、複数施設にまたがるスタディやレジストリーのデータを格納する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-26 冠動脈病変[拡張項目] 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.67"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.67	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	80192-8	セクションコード
@displayName	R	冠動脈病変(拡張項目)	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	冠動脈病変[拡張項目]	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-27 冠動脈病変[拡張項目]エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.67"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		冠動脈病変[拡張項目]コード。 冠動脈病変[拡張項目]コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		冠動脈病変[拡張項目]コードを示す文字列。 冠動脈病変[拡張項目]コード表にあるdisplayName列より選択。

@codeSystem	R		冠動脈病変[拡張項目]コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		冠動脈病変[拡張項目]コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		冠動脈病変[拡張項目]コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@code	R		有/無/不明選択コード
@displayName	R		有/無/不明

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.67"/>
  <code code="80192-8" displayName="冠動脈病変(拡張項目)" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>冠動脈病変[拡張項目]</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>seg_4AV 有無</td>
          <td>有</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="XXXXX" displayName="seg_4AV 有無" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

### 4.2.13. LVG Left ventricle Angiography

#### (1) 概要

LVG（左室造影検査）に関する情報を記載する。

#### (2) 説明ブロック仕様

表 4-28 LVG 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.68"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.68	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78950-3	セクションコード
@displayName	R	LVG	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	LVG	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-29 LVGエントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.68"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		LVGコード。 LVGコード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		LVGコードを示す文字列。 LVGコード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		LVGコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		LVGコードのコード体系を示す文字列
value	1..1		LVGコードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.68"/>
  <code code="78950-3" displayName=" LVG " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName
  ="LOINC"/>
  <title>LVG</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>

```

```

        <td>LVG_seg1</td>
        <td>normal</td>
    </tr>
    <!-- 以下繰り返し -->
</tbody>
</table>
</text>
<entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="78951-1" displayName=" LVG_seg1 " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName=" LOINC "/>
        <value xsi:type="CD" code="1" displayName="normal" />
    </observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.14. 心内圧データ Blood pressure method

##### (1) 概要

心内圧に関する情報を記載する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-30 心内圧データ 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.69"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.69	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	8357-6	セクションコード
@displayName	R	心内圧データ	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	心内圧データ	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-31 心内圧データエントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.69"]/entry			
observation	1..1		

@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		心内圧データコード。 心内圧データコード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		心内圧データコードを示す文字列。 心内圧データコード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		心内圧データコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		心内圧データコードのコード体系を示す文字列
value	1..1		心内圧データコードの対する結果値
@xsi:type	R	PQ	数値データ型
@unit	R	mmHg	単位
@value	R		結果値

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.69"/>
  <code code="8357-6" displayName="心内圧データ" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>心内圧データ</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>PCW_mean</td>
          <td>15</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="8587-8" displayName=" PCW_mean " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1 " codeSystemName="LOINC"/>
      <value xsi:type="PQ" value="15" unit="mmHg"/>
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```



## 4.2.15. スパズム負荷試験 Spasm stress test

### (1) 概要

スパズム負荷試験に関する情報を記載する。

### (2) 説明ブロック仕様

表 4-32 スパズム負荷試験 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.70"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.70	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	80191-0	セクションコード
@displayName	R	スパズム負荷試験	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	スパズム負荷試験	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-33 スパズム負荷試験エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.70"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		スパズム負荷試験コード。 スパズム負荷試験コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		スパズム負荷試験コードを示す文字列。 スパズム負荷試験コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		スパズム負荷試験コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		スパズム負荷試験コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		スパズム負荷試験コードの対する結果値
@ xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.70"/>
  <code code="80191-0" displayName="スパズム負荷試験" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>スパズム負荷試験</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>使用薬剤</td>
          <td>アセチルコリン</td>
        </tr>
        <!-- 以下繰り返し -->
      </tbody>
    </table>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code=" XXXXX " displayName="使用薬剤" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1 " codeSystemName="LOINC"/>
      <value xsi:type="CD" code="1" displayName="アセチルコリン" />
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.16. PCI 合併症 PCI complications

(1) 概要

PCI 時に発生した合併症に関する情報を記載する。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-34 PCI合併症 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78943-8	セクションコード
@displayName	R	PCI合併症	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列

title	0..1		
text()	M	PCI合併症	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-35 PCI合併症エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		PCI合併症コード。 PCI合併症コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		PCI合併症コードを示す文字列。 PCI合併症コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		PCI合併症コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		PCI合併症コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		PCI合併症コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.73" />
  <code code="78943-8" displayName=" PCI合併症" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>PCI合併症</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>PCI合併症の有無</td>
          <td>有</td>
        </tr>
        <!-- 以下繰り返し -->
      </tbody>
    </table>
  </text>
</entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">

```

```

<code code="78936-2" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"
displayName=" PCI合併症の有無" />
<value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="有" />
</observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.17. PCI 処置 PCI procedure

##### (1) 概要

PCI で行った処置に関する情報を記載する。  
本セクションは処置を行った部位の数だけ繰り返す。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-36 PCI処置 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.74"]			
templateId	0..*		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.74	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78914-9	セクションコード
@displayName	R	PCI処置	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	PCI処置	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-37 PCI処置エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.74"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		PCI処置コード。 PCI処置コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		PCI処置コードを示す文字列。 PCI処置コード表にあるdisplayName列より選択。

@codeSystem	R		PCI処置コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		PCI処置コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		PCI処置コードの対する結果値
@xsi:type	R	CD	コード型
@value	R		結果値
@unit	R		単位 (PQの場合のみ必須)

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.74" />
  <code code="78914-9" displayName=" PCI処置" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
codeSystemName="LOINC" />
  <title>PCI処置</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>成否</td>
          <td>成功</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="67544-7" codeSystem=" 2.16.840.1.113883.6.1 " codeSystemName=" LOINC "
displayName="成否" />
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="成功" />
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

### 4.2.18. PCI 処置[拡張項目] PCI procedure (Extended Items)

#### (1) 概要

心臓カテーテル情報システムの、PCI で行った処置に関する拡張項目情報を記載する。  
本セクションは主に二次利用目的で使用し、複数施設にまたがるスタディやレジストリーのデータを格納する。本セクションは処置を行った部位の数だけ繰り返す。

(2) 説明ブロック仕様

表 4-38 PCI処置[拡張項目] 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.75"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.75	テンプレートID
code	1..1		
@code	M	80527-5	セクションコード
@displayName	R	PCI処置(拡張項目)	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	R	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	PCI処置(拡張項目)	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-39 PCI処置[拡張項目]エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.75"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		PCI処置[拡張項目]コード。 PCI処置[拡張項目]コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		PCI処置[拡張項目]コードを示す文字列。 PCI処置[拡張項目]コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		PCI処置[拡張項目]コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		PCI処置[拡張項目]コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		PCI処置[拡張項目]コードの対する結果値
@xsi:type	R	ST	文字データ型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```
<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.75"/>
  <code code="80527-5" displayName=" PCI 処置(拡張項目)" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title>PCI 処置(拡張項目)</title>
  <text>
    <table>
```

© JAHIS 2016

```

<tbody>
  <tr>
    <td>病変開始部位</td>
    <td>RCA1</td>
  </tr>
  <!-- 以下繰り返し -->
</tbody>
</table>
</text>
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="XXXXX" displayName=" 病変開始部位 " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
      codeSystemName="LOINC"/>
    <value xsi:type="ST"> RCA1</value>
  </observation>
</entry>
<!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

#### 4.2.19. PCI 処置結果[拡張項目] Result of the PCI (Extended Items)

##### (1) 概要

心臓カテーテル情報システムの、PCI で行った処置の結果に関する拡張項目情報を記載する。

本セクションは病変を持つ冠動脈のセグメントの数だけ繰り返す。

本セクションは主に二次利用目的で使用し、複数施設にまたがるスタディやレジストリーのデータを格納する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-40 PCI処置結果[拡張項目] 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.76"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.76	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	80731-3	セクションコード
@displayName	R	PCI処置結果(拡張項目)	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	PCI処置結果(拡張項目)	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

(3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-41 PCI処置結果[拡張項目]エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.76"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		PCI処置結果[拡張項目]コード。 PCI処置結果[拡張項目]コード表にあるコード列より選択する。
@displayName	R		PCI処置結果[拡張項目]コードを示す文字列。 PCI処置結果[拡張項目]コード表にあるdisplayName列より選択。
@codeSystem	R		PCI処置結果[拡張項目]コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		PCI処置結果[拡張項目]コードのコード体系を示す文字列
value	1..1		PCI処置結果[拡張項目]コードの対する結果値
@xsi:type	R	ST	文字データ型
@value	R		結果値

(4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.76"/>
  <code code="80731-3" displayName=" PCI 処置結果[拡張項目]" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC"/>
  <title>PCI 処置結果[拡張項目]</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>対象血管</td>
          <td>RCA1</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
</entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="XXXXX" displayName=" 対象血管 " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" code
      SystemName="LOINC"/>
    <value xsi:type="ST"> RCA1</value>
  </observation>
</entry>

```



<!-- 以下繰り返し -->  
 </section>

#### 4.2.20. PCI 処置結果ステント基本情報[拡張項目] Basic information of the Stent (Extended Items)

##### (1) 概要

心臓カテーテル情報システムの、PCI で使用したステントに関する拡張項目情報を記載する。  
 本セクションはステント通番の数だけ繰り返す。  
 本セクションは主に二次利用目的で使用し、複数施設にまたがるスタディやレジストリーのデータを格納する。

##### (2) 説明ブロック仕様

表 4-42 PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目] 説明ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.77"]			
templateId	1..1		
@root	M	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.77	テンプレートID
code	1..1		
@code	R	78939-6	セクションコード
@displayName	R	PCI処置結果ステント基本情報結果 [拡張項目]	セクションコードを示す文字列
@codeSystem	R	2.16.840.1.113883.6.1	セクションコードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O	LOINC	セクションコードのコード体系を示す文字列
title	0..1		
text()	M	PCI処置結果ステント基本情報結果 [拡張項目]	セクションタイトルを示す文字列
text	0..1		
text()	R		セクションのテキスト記述文字列

##### (3) エントリ記述ブロック仕様

表 4-43 PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]エントリ記述ブロックXML仕様

XPath	Card.	値	説明
section[templateId/@root=" 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.77"]/entry			
observation	1..1		
@classCode	M	OBS	
@moodCode	M	EVN	
code	1..1		
@code	R		PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コード。 PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コード表にあるコード 列より選択する。
@displayName	R		PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コードを示す文字列。 PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コード表にある

			displayName列より選択。
@codeSystem	R		PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コードのコード体系を示すOID
@codeSystemName	O		PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コードのコード体系を示す 文字列
value	1..1		PCI処置結果ステント基本情報[拡張項目]コードの対する結果値
@xsi:type	R	ST	文字データ型
@value	R		結果値

#### (4) XML 記述サンプル

```

<section>
  <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.77"/>
  <code code="78939-6" displayName=" PCI 処置結果ステント基本情報[拡張項目]" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
  <title> PCI 処置結果ステント基本情報[拡張項目]</title>
  <text>
    <table>
      <tbody>
        <tr>
          <td>PCI 処置 No</td>
          <td>001</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
    <!-- 以下繰り返し -->
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="XXXXX" displayName=" PCI 処置 No " codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1" codeSystemName="LOINC"/>
      <value xsi:type="ST"> 001</value>
    </observation>
  </entry>
  <!-- 以下繰り返し -->
</section>

```

## 付録— 1. 作成者名簿

アドバイザー（五十音順、敬称略）

興梠 貴英                      自治医科大学附属病院 企画経営部医療情報部

謝辞：竹花一哉先生（関西医科大学内科学第二講座）、中山雅晴先生（東北大学病院メディカルITセンター・循環器内科）にもアドバイスを頂戴しました。

作成者（社名五十音順）

田中 英敏	(株)グッドマン
脇田 繁	(株)グッドマン
大関 毅	東芝メディカルシステムズ(株)
中野 信一	東芝メディカルシステムズ(株)
藤井 康広	日本光電工業(株)
吉村 尚郎	日本光電工業(株)
越後 洋一	日本光電工業(株)
小林 聡	フクダ電子(株)
大橋 龍	フクダ電子(株)

バージョン履歴

版番号	改版年月日	項目	概要
V1.0	2016.4.14	新規作成	新規作成

(JAHIS標準 16-001)

2016年5月発行

JAHIS 心臓カテーテル検査レポート構造化記述規約 Ver1.0

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号  
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)